

# 1 4 心臓血管外科フェロー研修要綱

心臓血管外科修練カリキュラム

指導責任者 村山 弘臣

基本事項(行動目標)

1. 心臓・血管の構造, 機能を理解し, 発生, 疫学, 病態に関する知識を持つ.
2. 問診, 理学所見に加えて, 必要な検査を行い, それらを統合して病態を把握する.
3. 病態に基づき手術計画を立てる.
4. 患者・家族に対し, 病態と予後, 手術の必要性と方法, 期待される効果とリスクについて説明する.
5. 手術を実施し, それが適切であったか評価する.

研修方略

外科専門医未修得者に対する到達目標	
1年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小児の正常な発育, 発達を理解する.</li> <li>・ 心臓・血管疾患の病態を理解する.</li> <li>・ 単純な心臓・血管疾患の術前検査(レントゲン, 心電図, 心臓超音波, 心臓カテーテル, RIなど)を総合的に評価する.</li> <li>・ 心臓血管外科専門医認定機構手術難易度(A)(B)(C)の第二助手, および, 手術難易度(A)の第一助手を行う.</li> <li>・ 周術期管理を先輩医師とともに進行.</li> </ul>
2年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複雑な心臓・血管疾患の術前検査(レントゲン, 心電図, 心臓超音波, 心臓カテーテル, RIなど)を総合的に評価する.</li> <li>・ 年長児開心術において, 人工心肺のカニューレーションを行う.</li> <li>・ 手術難易度(A)(B)(C)の第二助手, および, 手術難易度(A)(B)の第一助手を行う.</li> <li>・ 手術難易度(A)の一部の手術を指導医のもとに進行.</li> <li>・ 周術期管理を行う.</li> </ul>
3年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手術難易度(A)の手術を指導医のもとに進行.</li> <li>・ 手術難易度(A)(B)(C)の第一助手を行う.</li> <li>・ 周術期管理を行う.</li> </ul>
4年目～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心臓・血管疾患の総合的な評価に基づき, 手術適応, 手術術式を判断する.</li> <li>・ 手術難易度(B)の手術を指導医のもとに進行.</li> <li>・ 手術難易度(C)の第一助手を行う.</li> <li>・ 緊急時に的確な判断ができ, ECMOなど適切な対応ができる.</li> <li>・ 周術期管理を行う.</li> </ul>

外科専門医修得後の到達目標	
1年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小児の正常な発育, 発達を理解している.</li> <li>・ 心臓・血管疾患の病態を理解している.</li> <li>・ 心臓・血管疾患の術前検査(レントゲン, 心電図, 心臓超音波, 心臓カテーテル, RIなど)を総合的に評価していく.</li> <li>・ 手術難易度(A)の手術を指導医のもとに行っていく.</li> <li>・ 手術難易度(A)(B)の第一助手を行っていく.</li> <li>・ 周術期管理を行っていく.</li> </ul>
2年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心臓・血管疾患の総合的な評価に基づき, 手術適応, 手術術式を判断していく.</li> <li>・ 手術難易度(A)(B)の手術を指導医のもとに行っていく.</li> <li>・ 手術難易度(A)(B)(C)の第一助手を行っていく.</li> <li>・ 緊急時に的確な判断ができ, ECMOなど適切な対応ができる.</li> <li>・ 周術期管理を行っていく.</li> </ul>

3年目	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指導医のもと手術経験を積み, 3年間に手術難易度(A), (B)合わせて 100 件以上の執刀を目標とする.</li><li>・ 後輩医師を指導する.</li><li>・ 周術期管理を行っていく.</li><li>・ 心臓血管外科専門医取得を目標とする.</li></ul>
-----	---